

## 第四回区役所・サンプラザ地区再整備推進区民会議 議事録

【日時】平成 29 年 10 月 18 日（水曜日）午前 10 時 00 分から 11 時 30 分まで

【場所】中野区産業振興センター 3 階 大会議室

【出席者】

- 区民会議委員（千種委員、吉成委員、樺木野委員、大海渡委員は欠席）
- 中野区（松前副参事、石井副参事、小幡副参事、江頭副参事）

【議事録】※意見交換のみ。区による資料説明部分は除く。

➤ 中野四丁目新北口地区まちづくり方針（素案）についての報告

- 米持委員

まちづくり方針（素案）の概要の 2 ページ目に本地区のまちづくりに係る主な経緯があるが、有識者会議についての記載が抜けている。有識者との会議も行ってはいたはずだが、どのような事をしたのか教えて欲しい。

- 石井副参事

区役所・サンプラザ地区再整備実施方針と中野四丁目新北口地区まちづくり方針（素案）を作る間に都市計画や建築、環境・防災の学識経験者にご意見を伺った。まちづくり方針の主な内容である街区再編の可能性について、更にこのまちをよくするためにはどうすればいいのかを重点的に話し合った。

- 米持委員

前回の区民会議では、事業協力者からの提案にあった建物についてなどの具体でミクロ的な意見交換ができたが、それから時間がたった今日の会議ではまちの方針といった抽象的なものになっており、いきなりマクロ的な話に戻ってしまった。細かいミクロ的な部分はどうなっているのか。この事業のスケジュール感を教えてほしい。

- 石井副参事

今回は中野四丁目新北口地区まちづくり方針ということで、まちの方針を示した。事業の細かい内容については、来年度（平成 30 年度）に策定する再整備事業計画の中で示していく考えである。

- 米持委員

この区民会議は建物が完成するまで継続するのか。イメージを聞かせてほしい。

- 石井副参事

来年度、区役所・サンプラザ地区再整備事業計画の素案を策定した際に再びご意見をいただきたいと考えており、その回が最終回となる予定である。

- 矢野委員

前回も同じような話をしたが、バリアフリー面が心配である。工事中のバリアフリーに関して足が不自由な高齢者や障害者等に配慮された計画にして欲しい。工事が 10

年以上続くと思うが、目の不自由な人にとって、工事中毎日のように通行場所が変わり、今まで使っていた階段や道が使えなくなると非常に困ってしまう。工事期間中でも安全に駅を利用できるよう、工事の工程や進捗具合をホームページで具体的に公開してもらえるのか。その点は考えてくれるのか。

- 江頭副参事

工程や工事についてのお知らせは、具体的に分かり次第周知を行い、対策も含め早めにご相談させていただきたい。

- 中島委員

今お話のあったバリアフリーは非常に大事な話である。まちづくり方針には完成したバリアフリーに関する記載はあるが、工事中のバリアフリー等については明記されていない。その点をまちづくり方針に盛り込むことは可能か。

- 石井副参事

今後検討させていただきたい。

- 中島委員

一文でも構わない。工事期間中の対応についての一文は書けるのではないか。

- 石井副参事

渋谷を視察した際に周知について聞いたが、工夫して行われていた。視察で聞いた内容を踏まえ、中野駅周辺での工事の際に、周知についてどのように対応していくかは今後検討させていただく。

- 市野委員

中野四丁目新北口地区まちづくり方針の28ページに歩行者ネットワークについてあるが、駅前広場の交通広場が今よりもっと西側に移動している。例えば南口のバス停で降りて北口のバス停へ乗り換える時、今よりもっと遠くなる。また、駅前広場と中野通りには高低差があるが、高低差への対応について考えた上で計画を作っているのか。

- 小幡副参事

ご指摘のとおり、駅前広場は中野四季の都市（まち）寄りになっている。また、標高約40mに交通広場がくるため、バリアフリーについての対策も含め、どのように高低差をつないでいくかを今後考えていきたい。

- 佐々木委員

この方針ができるまでは、副参事に色々と意見を述べてきたが、完成したものを見ると全体的には大変良くできた案だと言える。ただ、大きな問題が書かれていない。この地区のまちづくりが行われている期間に、三丁目の土地区画整理事業や二丁目の再開発事業も進行し、駅周辺の回遊性、にぎわい創出、駅周辺が便利になることなどが今まで示されてきたが、駅周辺においてこの地区はどう位置づけているのか。この地区だけのにぎわいを考えているのか、全体的なにぎわいを考えているのかどうなのか。

また、防災についての記載はあるが、セキュリティについての記載が抜けている。ソフト面とハード面を含めたセキュリティの観点から、全体的なエリアマネジメントをする組織も考えないといけない。エリアマネジメント組織のビジョンを早く作るべきである。もう一点、けやき通りについて、新北口から沼袋までをつなぐ道路だが、拡張されるなどの話も聞いている。けやき通りについての大きなビジョンはどうなっているのか。交通広場にバスの降車場所については確保できるかもしれないが、バスを停留させ待っている場所はどこを考えているのか。1万のアリーナについても書いてあるが、アリーナのサステナビリティを考えないといけない。中野サンプラザが民営化される時に関わったが、年に3億の赤字を出していた。1億の赤字に減らしたが、それでも修繕に回す積立ができなかった。1万人アリーナの稼働率、入場料等の数字をしっかりと検討した計画を入れていただきたい。

- 石井副参事

中野四丁目新北口地区のまちづくり方針であるため、確かに他の地区との連携が見えにくい部分があった。回遊性とは謳っているが、もっと深く書いた方が良いかもしれない。そのあたりについてもきちんと検討していきたい。また、防犯の観点があってもいいと思う。視野を広くもって進めていきたい。アリーナの事業計画等については検討中であり、次回の再整備事業計画に盛り込みたいと考えている。

- 赤星委員

まちづくり方針は点で考えずに面で考えて欲しい。明らかに隣接エリアで開発が進んでいる中、駐車場やエネルギー、歩行者空間、バリアフリー等は周辺とつながってくる機能であるため、隣接エリアと一体的に検討する場が必要である。そういう場でしっかりと話し合ってもらいたい。

- 石井副参事

中野駅周辺では工事が同時に進行するため、バリアフリー等をどうするか検討する場が必要であると認識している。その点については十分に配慮していく。

- 吉村委員

まちづくり方針の27ページにユニバーサルデザインとある。目標としては素晴らしいと思うが、まだバリアフリーの検討さえ進んでいないのに、ユニバーサルデザインまで議論が及ぶのか疑わしい。また、レベル差を考えると、JRのホームと歩行者滞留空間が同じレベルになるため、ここが一番大事な結節点になると思う。駅のホームと歩行者滞留空間の高低差が約1m以内ということが鍵だと認識しているし、アリーナに来場すると想定される1万人もの人をどのように一気に通過させるかの対策も同時に考えなくてはならない。ホームから下がって上がってという概念が古く、三宮や千駄ヶ谷の事例のように対応すべき。同じ空間に歩行者と車両が入るような計画は20年前のものである。歩行者空間という固いイメージではなく、もっと柔らかい印象になるようソフト面での対策も必要ではないか。そのあたりはしっかりと検討して

いただきたい。もう一点、新北口から中野四季の都市（まち）に移動するルートがあるが、ルート上には税務署がある。税務署は移転するのか。

- 小幡副参事

歩行者滞留空間については、交通量や人の流れ等をきちんと想定した上で検討してきた。人の滞留と流れは別で考える必要があり、歩行者の動線と滞留空間は別々に配置する必要があるためこの配置になっている。人の流れについては2本の動線が大事になると考えており、2本の動線で北口と西口に人を上手く捌いていく計画を検討している。また、この滞留空間が中野の顔になるという認識があり、駅と建物との間でどのように整備していくか検討中である。より豊かな空間になるようにしていきたい。

- 石井副参事

税務署に関しては、移転の協議を現在行っているところである。

- 正村委員

まだ計画が見えない部分が多くあるが、区には検討事項が決まり次第、すぐに情報開示をしていただきたいと思う。

- 中島委員

今回の議論で出たエリアマネジメントやバリアフリー等に関しては、これからきちんと検討を深め、次の再整備事業計画に活かしていただきたいと思う。

以 上